

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成20年9月18日(2008.9.18)

【公開番号】特開2007-52977(P2007-52977A)

【公開日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-008

【出願番号】特願2005-236379(P2005-236379)

【国際特許分類】

H 05 B 41/24 (2006.01)

H 05 B 41/18 (2006.01)

【F I】

H 05 B 41/24 D

H 05 B 41/18 3 1 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月4日(2008.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

高圧放電灯と、この高圧放電灯に始動用高電圧を供給する始動パルス発生回路と、この始動パルス発生回路を制御する制御回路とを備えた高圧放電灯点灯装置において、

前記始動パルス発生回路は、

スイッチング素子のオン／オフにより発生するパルス電圧を昇圧するトランスと、

前記トランスに設けられる低電圧側の1次巻線と、

前記1次巻線に発生する電圧を検出して、前記制御回路にフィードバックするとともに、前記制御回路は前記トランスの昇圧後の電圧を所定値に維持することを特徴とする高圧放電灯点灯装置。

【請求項2】

高圧放電灯と、この高圧放電灯に始動用高電圧を供給する始動パルス発生回路と、この始動パルス発生回路を制御する制御回路とを備えた高圧放電灯点灯装置において、

前記始動パルス発生回路は、

スイッチング素子のオン／オフにより発生するパルス電圧を昇圧するトランスと、

このトランスに設けられたフィードバック電圧検出巻線と、

前記フィードバック電圧検出巻線に発生する電圧を検出し、前記制御回路にフィードバックするパルス検出回路とを備え、前記制御回路は、前記トランスの昇圧後の電圧を所定値に維持することを特徴とする高圧放電灯点灯装置。

【請求項3】

前記1次巻線に発生する電圧または前記フィードバック電圧検出巻線に発生する電圧を分割する電圧分割回路を備えたことを特徴とする請求項1又は請求項2記載の高圧放電灯点灯装置。

【請求項4】

出力配線長を、10m以内とすることを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載の高圧放電灯点灯装置。